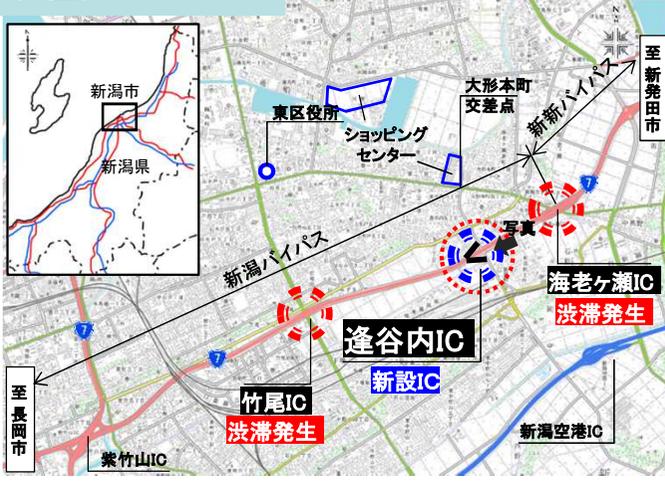


逢谷内IC設置による交通分散、周辺道路の混雑緩和

- ・新潟バイパス: 昭和60年に全線開通した新潟市の幹線道路
- ・国道7号竹尾IC、海老ヶ瀬ICおよび周辺道路で慢性的な交通渋滞が発生。
- ・郊外からの市街地流入交通や地域内交通が集中しているため、交通を分散する事を目的として逢谷内ICを新設。
- ・混雑するIC間に逢谷内ICを新設し、竹尾IC、海老ヶ瀬IC、周辺道路の交通混雑が緩和

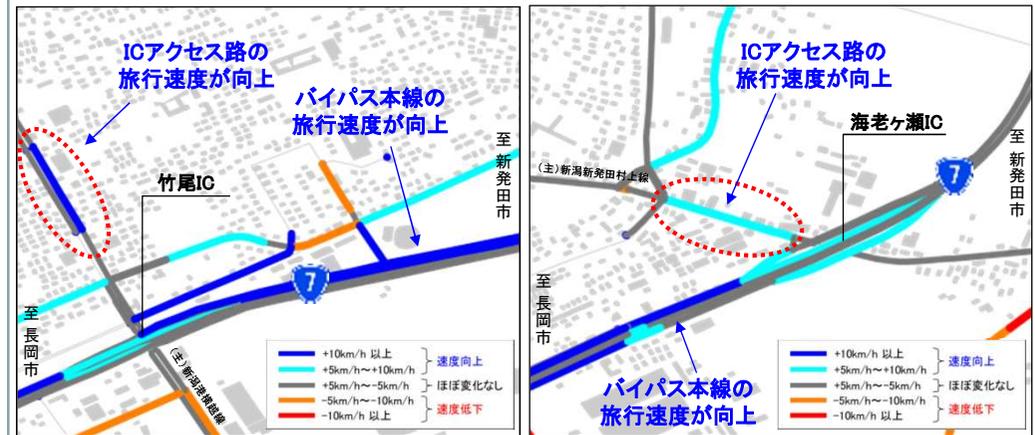
位置図



周辺道路における旅行速度向上効果

- ・逢谷内ICの開通により、朝ピーク時における新潟バイパス本線の旅行速度が向上
- ・また、竹尾IC、海老ヶ瀬ICアクセス路においても旅行速度が向上

【逢谷内IC開通前後における周辺道路の速度変化図(朝ピーク時平均: 7時~9時)】



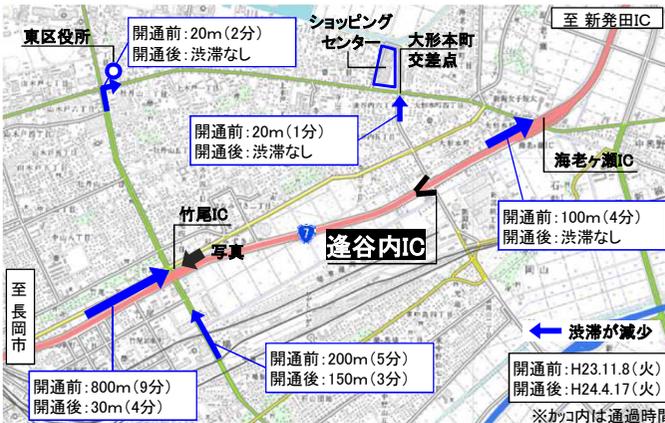
竹尾IC周辺

海老ヶ瀬IC周辺

出典: 民間プローブデータ(開通前: H23年9月、開通後: H24年9月) ※平日平均

周辺道路の渋滞緩和効果

- ・逢谷内ICの開通により、竹尾ICや海老ヶ瀬ICの渋滞が解消や緩和
- ・周辺道路でも交通流の変化により渋滞が緩和している箇所が多い

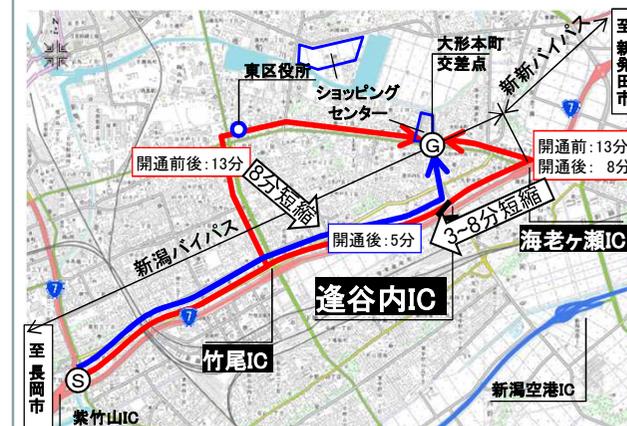


【竹尾IC 下り線オフランプ】



道路利用者や周辺事業者の利便性等向上効果

【所要時間の短縮】(紫竹山IC~大形本町交差点間)



出典: 民間プローブデータ 平日ピーク平均 (開通前: H23年9月、開通後: H24年9月)

【周辺事業者へのヒアリング】

Q. 逢谷内ICの整備により感じられる効果について

- バス事業者
 - ・開通前は15分程度の遅れが生じることもあったが、現在は定時性を確保できている。
- 宅配事業者
 - ・バイパスの周辺道路で混雑が緩和し、宅配の定時性が向上。
- 商業関係者
 - ・店舗周辺の道路混雑が緩和し、お客様の利便性が向上。

出典: ヒアリング調査結果 (H24年7月)